

# みやはら耳鼻科通信

発行/ 医療法人 南輝 〒702-8034 岡山市南区福浜西町6番17号 ☎086-237-4133

木曜日は午前診療  
診療時間 8:00～12:30

LINEでお得なクーポン  
配信！登録はコチラ⇒



## ペットボトルキャップの リサイクルにご協力あり がありがとうございます!!!

昨年も皆さまにご協力いただき、累計289名分のポリオワクチンにペットボトルキャップが変身しました♪厚く御礼申し上げます。



昨年5月から始めたので、1年半経過しましたが、289名ものお子さんが「ポリオ」という難病になるのを防ぐことができる医療を受けれることになり、うれしいのと「継続は力なり」というのを実感しております。

また、この取り組みをしていく中で、私自身リサイクル運動の意義やポリオという病気への理解が深まりました。このへん患者の皆さんにも知っておいていただくといいかな思いました。それで、今月はポリオという病気やペットボトルのリサイクルをすることについて詳しくお伝えしたいと思います。



みやはら耳鼻科 公式チャンネル

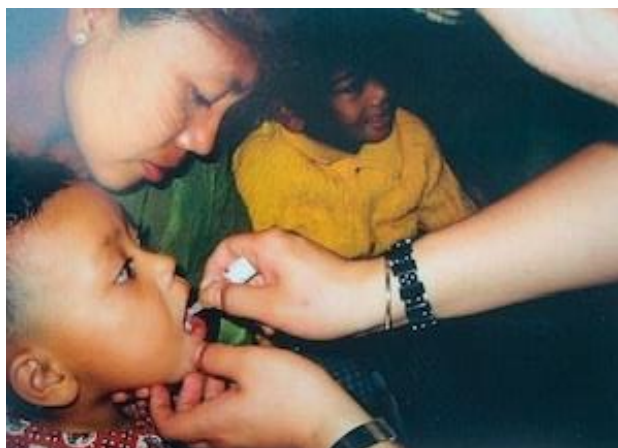
耳鼻咽喉科専門医が  
日常に役立つ情報を配信中！



ポリオ（小児麻痺）とはポリオウィルスのせいで、手足の筋肉が麻痺してしまう病気です。麻痺は一生続き、治す方法はありません。しかし、予防接種を受けることでポリオになることを防げるのです。

日本では生後2か月から数回の接種を行うことでポリオは発生していません。

しかし海外では依然としてポリオが流行している地域もあるのです。



ポリオワクチン接種光景

そんな訳でポリワクチン接種を推進することは健康に人生を送ることをプレゼントすることにつながるのです。

そして、ペットボトルキャップのリサイクルについて。

この取り組みを続けていく中で、「なるほど！」と思えることがいくつもありました。ここからはペットボトルキャップのリサイクルにまつわ話をさせていただきます。

キャップのリサイクルをする理由ですが、これには「いかにリサイクルの品質をあげてよりワクチンを供給できるか」といった視点で運用されているのです。

▼詳しくはコチラ▼



**注射をしない！**

**41種類のアレルギーが**

**30分でわかります！**

- ・指先からの少量の血液(1~2滴)で検査ができます！
- ・1歳のお子様でも簡単に検査可能です！

保険  
適用



キャップだけのリサイクルについては以下の3つのポイントがあります。

## 1.リサイクル製品の品質

実はペットボトル本体とキャップは素材が違うので工場に分けることができるのです！ペットボトル本体のポリエチレンテレフタレート（PET）は水より重く水の中で沈みます。対してキャップに使われているプラスチックであるポリプロピレン（PP）とポリエチレン（PE）は水より軽く水に浮きます。この比重の差を利用するのです。

ただし、工場での「比重分離」ができるといっても100%完璧ではありません。また、キャップ素材が少なければ少ないほど作業の効率や品質は良くなります。

それで、回収を促進するためにコンビニなどではあえて「分別回収」をせずにペットボトルを「丸ごと」回収する方法をとったりしているのです。



## 2.リサイクル回収の過程のコスト

ペットボトルとキャップが一体化しているということは中に液体が入っています。

そうすると、ペットボトルを回収及び運搬する際にペットボトルにたまっている液体がこぼれたりする。すると作業する方やリサイクル機材を汚し、清掃費といった形で余計な支出が生じてしまうのです。

# 睡眠時無呼吸症候群

この病気は要注意！

当院の検査や治療のメリット

心臓や脳などの重い病気  
注意力低下で交通事故を  
起こしやすいです。

自宅で検査や治療が可能です。  
病院へ通院する必要はありません。  
治療開始後すぐに病気の改善が可能！

詳しくは  
こちら



こういった部分はまさに「塵も積もれば山となる」で、もともと薄利なリサイクル製品ですから、結構重要ですよ。

### 3.リサイクルにつかうプレス機

ペットボトルはキャップをつけたままだと中に空気が入ることで、プレスする時に、機械の中で「爆発」のような状態になってしまうのです。そうすると小規模な機械では爆発したペットボトルの破片で故障の原因になってしまいます。これもまた回収費用の増大につながってしまいます。



これらの問題は、ペットボトルからキャップを外せばリスクを避けることができ、リサイクルするまでの費用が増えるのを押さえることができます。

ただし、ペットボトルキャップのリサイクルはまだまだ過渡期であり、もっと効率的な回収や高品質なリサイクルプラスチック製品ができていくと思います。

ささやかではありますが、私はこの取り組みが地球環境を守る「真の循環型社会」の第一歩となることを信じています。

当院ではこれからもペットボトルキャップのリサイクルに取り組んでまいります。引き続きご協力よろしく申し上げます！

## 耳そうじなんでもサイト

耳そうじが大好きな方、  
耳そうじのトラブルで  
お悩みの方、必見！  
耳そうじの全てをご紹介します！

